

山形市

野草園大より 42号



シンボルマーク
原画 阿部功雲氏

ゴヨウツツジ (ツツジ科)

花期 5月～6月

本州、四国の深山に生える落葉低木です。純白の花を咲かせるので、清楚な感じのするツツジです。葉が枝先に5枚輪生状につくことから、この名がつけました。また、老木になると幹が松の樹皮に似てくることから、マツハダとも言われています。野草園ではロックガーデン、ツツジの丘で見ることができます。

平成23年度 写真コンテスト最優秀・優秀作品



第18回山形市野草園写真コンテストの審査を終えて

平成5年4月、「自然と人間の共生」をテーマに開園した野草園では毎年、「自然と憩いと安らぎ」を求めて来園する人々の目で見えた野草園の魅力を捉えた写真コンテストを実施してきました。今回で18回目を迎えましたが、一般の部では60人から202点、小中学生の部では5人から23点の応募がありました。前回に比べ一般の部では応募者数・応募点数とも増加しましたが、小中学生の部の応募者数・応募点数が少なかったのが残念でした。

一般の部で最優秀となった山川由美子さんの「魅せられて」は、花の蜜を吸う蝶の姿を捉えたものですが、美しい気品にあふれた作品です。緑色にぼかした背景の中に紫色の花と黄色のアゲハチョウを据え、撮影しています。構図、ピント、露出全てに優れた作品です。

優秀賞に選ばれた鈴木典夫さんの「残雪の丘」は人との触れ合いを捉えた作品が少ない中では特出した作品でした。残雪の雪山から目の前を走るミニSLを眺める少女の羨ましげな眼差しがとても印象的な作品です。

また、同じく優秀賞の栗野康夫さんの「かくれんぼ(ニッコウキスゲ)」はマクロレンズを使い花の中のバツタを捉えたものですが、ニッコウキスゲの黄色い花の中にいたバツタの顔を撮影した今までにない作品です。

小中学生の部の最優秀となった谷口奈生さんの「きみは誰?」は木の枝のアマガエルを捉えたものですが、真正面からしっかりと写し、余分なものを切り取り、優れた構図でまとめ上げた優れた写真です。カエルを画面右側に据えた点も良かったところです。

全体的に花や野草、それとチョウチョウをアップ気味に捉えた作品が多かったのですが、冒頭申し上げましたように「自然と憩いと安らぎ」を求めて訪れる人々と自然の触れ合いの姿を皆さんの感性で捉えていただきたいと思います。写真の基本は、『見る、撮る、見せる』です。撮影するときは感動して撮っています。その感動を写真でどのように伝えるかが大切な事です。

最優秀をはじめ、入賞されました皆さん、おめでとうございます。これからも野草園の魅力を皆さんの目で引き出していただけるような、素晴らしい作品創りに励まれますようご期待いたします。

平成23年11月1日
審査員代表 阿部直美



自然のたくみさ・ふしぎさ

早春の雑木林を彩る植物

早春の雑木林で見られる植物の中から、今回はキクザキイチリンソウ、アズマイチゲ、フクジュソウについて紹介してみたいと思います。

キクザキイチリンソウは北海道、本州の近畿地方以北に分布し、落葉樹林の林床や林縁に生えるキンポウゲ科の多年草です。早春の雪解け後に芽を出し、花を咲かせ、木々が若葉を広げ、繁茂する前に日差しを十分に浴びて栄養をため込みます。そして木々の葉が生い茂る頃には、地上部は枯れてしまい、地下茎だけを残して休眠し、翌春の花時まで地上に姿を現わしません。花は淡紫色から白色のものまで様々です。花弁に見えるものは萼片で、花弁はありません。天気^{がく へん}に敏感な植物で、花は日が当たると開き、曇ると閉じてしまいます。葉の切れ込みが深く、キクの花に似ていることから、この名がつけました。



キクザキイチリンソウ

キクザキイチリンソウの仲間にアズマイチゲがあります。キクザキイチリンソウと似ていますが、葉の切れ込みが浅く、丸みを帯びていて、花時に葉が下に垂れ下がることで見分けることができます。アズマイチゲも早春に花を咲かせ、2ヶ月後には地上部が枯れてしまいます。キクザキイチリンソウ、アズマイチゲともにハーブ園西側に群生しています。



アズマイチゲ

キクザキイチリンソウと同じような生育サイクルのものにフクジュソウがあります。フクジュソウは日本（北海道～九州）、朝鮮半島、シベリア等に広く分布するキンポウゲ科の多年草です。フクジュソウの花はパラボラアンテナと同じ形で太陽光から受けた熱を花の中央に集め、その熱で虫を誘い、花粉を運んでもらいます。そのため、花は太陽の方をいつも向いています。旧暦の元旦の頃、ほかの草花に先立って開花し、開花期も長いことから幸福の「福」と長寿の「寿」^{ことぶき}をあてて、福寿草^{ふく しゅ そう}の名がついたといわれています。元旦草という別名もあります。お正月の飾りとして、江戸時代から珍重され、品種改良により多くの園芸品種が作られたといわれています。野草園では花の草原西側で見られます。



フクジュソウ



春に咲く花々たち



ザゼンソウ

サトイモ科

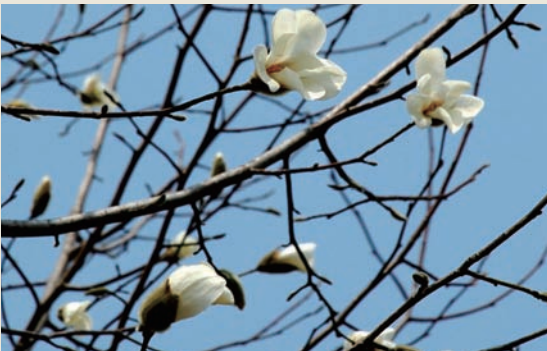
ザゼンソウは花を咲かせる時に自ら発熱することで、早春の寒さの中でも開花することができるようです。



ミズバショウ

サトイモ科

ザゼンソウより少し遅れて咲き出します。葉は花後に長さ80cmほどまで伸びます。



キタコブシ

モクレン科

葉が開く前に香りのよい白い花を咲かせます。マグリヤ通り、中央広場で見られます。



アセビ

ツツジ科

馬が食べると中毒してしびれ、酔っ払ったようになることから、馬酔木^{あせび}と名がついたそうです。



オオバキスミレ

スミレ科

日本海側の多雪地に生える多年草です。名前の通り葉が大きいのが特徴です。



オクチョウジザクラ

バラ科

他の桜に先駆けて咲きます。ロックガーデンに多く、丈も小さいので、目の前で観察することができます。

春に咲く花々たち



ショウジョウバカマ

ユリ科

咲き始めは低い位置で花を開き、その後茎をどんどん伸ばし、花が終わる頃には高さ60cm位になります。



ユキツバキ

ツバキ科

日本海側の多雪地に適応するために、枝は柔軟で雪の重みでたわみ、雪の中に埋もれて越冬します。



トウゴクミツバツツジ

ツツジ科

関東地方の山地に多く、枝先に3枚の葉がつくことから東国三葉^{とうごくみつば}ツツジと名がついたそうです。



レンゲツツジ

ツツジ科

高原や林縁に生える落葉低木です。全体に毒があります。マグノリア通りやツツジの丘で見られます。



イワカガミ

イワウメ科

岩場に生え、葉に光沢があることからこの名がついたそうです。ロックガーデンで見られます。



エビネ

ラン科

雑木林の木々が若葉に覆われた頃に花を咲かせます。ナナカマドの森の南側で見られます。

催しものスナップ



▲木工工作教室



▲プリザーブドフラワー教室



▲ミニSL

お知らせ

平成24年度の開園は4月1日(日)です。

当日、先着100名に苗木・花苗をプレゼントします。

●主な催し

展示

- 野草園写真展(紅の蔵 街なか情報館)
→ 4/3(火)~4/22(日)
- 春の山野草展
→ 5/4(金)~5/6(日)
- 南東北3県ポタニカルアート作品展
→ 9/9(日)~9/23(日)
- きのこ写真展
→ 10/6(土)~10/21(日)
- 平成24年度 写真コンテスト入賞作品展
→ 11/1(木)~11/23(金)

観覧会

- ガイドウォーク
→ 4月~11月まで毎週日曜日
- 四季観覧会
→ 5/19(土)、7/21(土)、9/22(土)、
10/20(土)、2/17(日)
- ホタル観覧会
→ 6/29(金)~7/1(日)
7/6(金)~8(日)
- 星空を見る会
→ 未定

- 早朝バードウォッチング
→ 4/21(土)

体験教室

- 野草園オリエンテーリング
→ 5/3(木)、10/7(日)
- ミニSL運行
→ 4/28(土)、4/29(日)、7/28(土)、
7/29(日)、10/6(土)、10/7(日)
- ポニー乗馬体験
→ 5/3(木)、5/5(土)、10/8(月)
- ガーデニング教室
→ 6/9(土)
- 山野草の育て方教室
→ 5/22(火)
- ハーブを使った工作
→ 7/28(土)
- 木工工作教室
→ 7/29(日)、8/11(土)
- 工作体験
→ 5/5(土)、10/7(日)
- そば打ち体験
→ 9/29(土)、10/13(土)
- プリザーブドフラワー教室
→ 9/8(土)

- 工作コーナー
→ 夏休み期間中

コンテスト

- 野草園の魅力を探る写真コンテスト
→ 応募締切り10/8(月)

その他

- 春の野草園祭り
→ 4/28(土)~5/6(日)
- 夏の野草園祭り
→ 7/28(土)~7/29(日)
- 秋の野草園祭り
→ 10/6(土)~10/8(月)
- 植物観察ときのご鍋
→ 10/21(日)
- 焼き芋
→ 11/10(土)

※都合により内容の一部が
変更になる場合があります。

◀野草園のホームページ▶
<http://www.yasouen.jp>

この花を 探せ!!

今回の花は
見つけれられるかな?



▲クリスマスローズ 開花時期4月



▲ムシカリ 開花時期5月



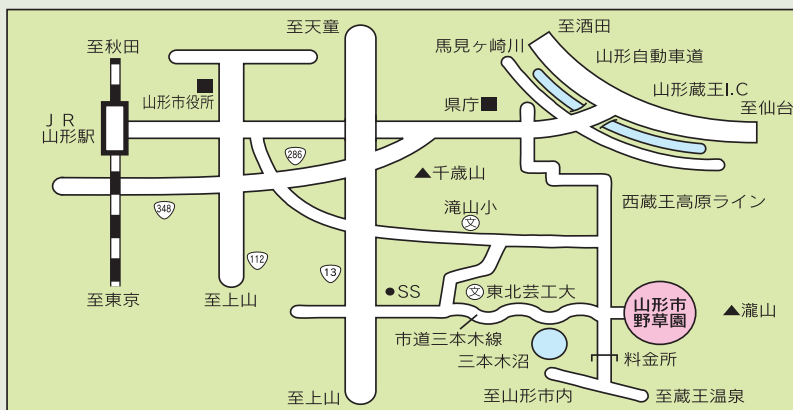
▲ニッコウキスゲ 開花時期6月

《開園時間等》

- 開園時間
4月~5月 9:00~16:30
6月~8月 9:00~18:00
9月~11月 9:00~16:30
- 休園日/毎週月曜日
ただし、月曜日が祝日・休日
の場合はその翌平日
※4月の第3月曜日から6月の第2
月曜日まで休まず開園します。
- 冬期間休園/12月~3月
- 入園料
大人/300円
高校生以下/無料
◆団体割引(20人以上の場合)
大人/240円
高校生以下/無料

《交通案内》

- JR山形駅より山形交通路線バス西藏王・野草園行き終点下車
- 山形自動車道蔵王I.C.より西藏王高原ラインを蔵王温泉方面へ15分
- 滝山小、芸工大方面より岩波経由又は、ヒルズサンピア方面より
市道三本木線経由で自家用車15分



野草園だより

編集・発行/山形市野草園



42号/平成24年3月発行(年2回発行)

〒990-2406 山形市大字神尾832番地の3

TEL 023(634)4120・FAX 023(634)4121